

じゃづく 蛇造りの道具

安行地域は江戸時代から現代まで続く植木の名産地です。蛇造りを行なっている保存会の方々にも、植木業を営んでいる方が多くいます。そのため、蛇造りに使う道具に関しても、植木業で使用する鋏などの道具が多く使用されています。

他にも、蛇造りの開始を知らせる鉦や、鼻を編むための「はちりん棒」、顎部を縄で補強する時に、縄を通すために使用する針状の木棒などが使われます。

また、「安行原蛇造り保存会」では、会員用の法被^{はっぴ}を作っており、当日は鮮やかな青い法被姿を見ることができます。



顎部に縄を通すための棒



鼻を編むための「はちりん棒」